

今年は厳しい寒さが続きましたが、三月の声を聞いてやっとすこし春らしくなり、我が家の庭の梅もようやく咲き始めました。今月は、3月11日の東日本大震災と原子力発電所の事故から一年です。現地ではようやく復興がはじまっていますが、地域によってまだらな状態のようです。原発は冷温化宣言はしましたが、廃炉まではまだ長期の取り組みが必要です。世界をみてもEUの通貨問題は綱渡りが続いています。いずれも前途多難ですが、世の中は順調にゆくことは少ないと覚悟を決めれば、この状態をいかに超えてゆくか、人間の英知が問われているとも考えられます。そんななか、今月も、ネットワークの活動の報告とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

1月末から2月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

3月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。夏休みの経済教室の内容の検討がすすんでいます。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 経済教育ワークショップ名古屋を開催しました。

1月31日(火) 13:30～ 名城大学名駅サテライトでワークショップ名古屋を開催しました。参加者は25名でした。今回は、愛知県名瀬地区高等学校公民科研究会の定例研究会に協力するかたちで行い、篠原代表が国際経済の講義、新井が体験型の授業提案を行いました。篠原代表の講義では教科書の記述の背景にある問題や国際経済を教えるためのポイントを紹介しました。授業提案は、シミュレーション二つ(マネーサプライと物価、公共財ゲーム)を参加の先生方と体験して、その有効性を確認しました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS20120131Nagoya.pdf>

■ 京都部会 (No.12)を開催しました。

2月2日(木) 19時00分～21時00分に、同志社大学、光塩館2F、第二共同研究室で京都部会 (No.12) を開催しました。

篠原代表からの報告、NHK ラジオでの通信高校講座の録音の話、国際経済の動向の読み方などが話し合われました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto012report.pdf>

■札幌部会 (No.2)を開催しました。

2月4日(土)14時30分～17時00分に、キャリアバンク・セミナールームで札幌部会 (No.2) を開催しました。

当日は、経済教育の在り方、歴史と経済の関係などを参加者がディスカッションする形で進めました。ネットワークからは篠原代表、猪瀬武則先生(弘前大学教育学部教授)が参加されました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo002report.pdf>

■東京部会 (No.46)開催しました。

2月23日(木)19時00分～21時30分に、日本大学経済学部7号館13階会議室3で東京部会 (No.46)を開催しました。

参加者17名。当日は、福井大学橋本先生、宮崎大学吉村先生、金融教育の取材中の朝日新聞氏岡記者もオブザーバー参加され、報告と討議が行われました。

内容は、篠原代表の報告、夏の教室の内容検討、入試問題の検討、高橋先生の授業実践の報告、宮尾先生から本の紹介とそのコメントと多彩な内容で、予定時間を超過して熱心な論議が行われました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo046report.pdf>

■『経済セミナー』での連載を掲載しています。

雑誌『経済セミナー』日本評論社、で掲載されていた「中学・高校の経済教育」のシリーズは掲載半年を経過したものから順にニューズレターで再掲しています。ニューズレター2月号には、奈良学園中高の山本先生の「市場経済を中高生に教えるには」が掲載されています。

以下の HP でお読みください。

<http://www.econ-edu.net/reference/newsletter/NL7-2.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、確定した夏の経済教室の内容を掲載します。

■大阪部会 (No.27)を開催します

日時：3月3日(土)18時00分～20時00分

場所：A P 梅田大阪 大阪市北区曾根崎新地 2-3-21 a x ビル 4階 A 会議室

内容：入試問題検討プロジェクト報告など。

参加方法は下記 HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka27flyer.pdf>

■東京部会 (No.47)開催します

日時：3月16日(金) 18時00分～20時00分

場所：7号館13階会議室3

内容、参加方法は下記HPでご確認ください。なお、開始がいつもより早くなっていますのでご注意ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo047flyer.pdf>

■京都部会 (No.13)を開催します

日時：3月23日(金) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容、参加方法は下記HPでご確認ください。なお、開始がいつもより早くなっていますのでご注意ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto013flyer.pdf>

■経済教育ワークショップ宇都宮

とき：3月24日(土) 13時30分～17時(受付開始13時)

ところ：宇都宮大学教育学部附属中学校

内容：講演「歴史から経済を読み解く」(江戸の歴史から解き明かす)

同志社大学経済学部 篠原総一

教材提案「住宅メーカー 職場シミュレーション」東京都目黒区立目黒中央中学校

三枝利多

討論「ゲーム教材の使い方」弘前大学教育学部 猪瀬武則

宇都宮地区の先生方以外でも、お時間があればご参加ください。

内容、参加方法は下記HPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS.Sympo/WS%20Utsunomiya20120324.pdf>

■札幌部会 (No.3)を開催します

日時：5月19日(土) 14時30分～16時30分

場所：北海道教育大学札幌校 サテライト教室 (Sapporo55ビル)

内容、参加方法は確定次第HPで報告いたします。

■夏の経済教室の準備が進行しています。

5年目になる東京証券取引所との共催でおこなっている夏休み「先生のための経済教室」の準備が進行しています。日程と会場はすでに報告していますが、再掲しておきます。

8月2日(木) 広島会場、中学の先生向け

8月3日(金) 広島会場、高等学校の先生向け

広島の会場は、未定です。

8月6日(月) 大阪会場、中学の先生向け

8月7日(火) 大阪会場、高等学校の先生向け

大阪会場は、大阪国際会議場です。

8月8日(水) 名古屋会場、中学の先生向け

8月9日(木) 名古屋会場、高等学校の先生向け

名古屋会場は、ウインクあいち(昨年と同じ)です。

8月16日(木) 東京会場、高等学校の先生向け

8月17日(金) 同

東京会場は、東京証券取引所です。ただし、電力事情等によって変更の可能性があります。

8月20日(月) 東京会場、中学の先生向け

8月21日(火) 同

東京会場は、同じく東京証券取引所を予定しています。

内容の検討が進んでいます。ネットワーク関係の先生方では、篠原代表が高校向けに「戦後世界経済史」を講義します。また、中川雅之先生が同じく高校向けに「民主主義と経済」の講義を予定しています。これは、「政治・経済」の授業では自明のものとされている民主主義のしくみを経済学ではどう読み解くかという話になる予定です。機能不全が目立つ政治を経済学の観点から読み解く講義は、新しい視点を先生方に提供することでしょう。講演では、東京大学の柳川範之先生を予定しています。ほかにも、教科書を読み解く、入試問題から経済を教える、実践交流会などを予定しています。また、講演をされる交渉中の先生方に関しては、確定し次第順次報告いたします。なお、内容に関するご希望などがありましたら、ネットワーク(contact@econ-edu.net)までお寄せください。

【 3 】授業のヒント

「わかりませんを言わせない方法、もしくは話し合いのさせかた」

教員志望の大学生向けの講義で授業案のレポートを提出させています。そこで多く登場するのが話し合いをさせるという活動です。しかし、そう簡単にクラスで話し合いができるわけではないから再考せよとコメントして返却します。教育実習生も話し合いをさせたがりますが、たいてうまくゆきません。同じような悩みを抱えている先生も多いかもしれません。そこで今回は、一番簡単な話し合いのやり方をヒントとして書きます。

話し合いといっても中学、高校、大学ではずいぶん違います。小学校であれだけ「はい、はい」と手を上げ討論をしていた生徒がだんだん沈黙をはじめついには「貝のように」なります。それが成長ではあっても授業で沈黙されたり「わかりません」の連続は教員としてはつらいものがあります。

さて、その方法はいたって簡単。①二人一組にして、②時間を区切ってしゃべらせることです。③そのうえで発表させることです。

例えば、貿易の変化のグラフを読ませるといった課題があったとします。通常はひとりひとりをあてて何かわかることはないかと聞くのですが、二人一組にして例えば3分間という時間を与え、たくさん考えたものをメモさせて、あててゆく。時間は厳守します。そのため、ベルや

